

タブレットを活用したライティング指導 (SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 Our Project2 この人を知っていますか)

- ① 書く ② 個・学 ③ 評価 ④ タブ ⑤ Google スライド

【ここがポイント！】

① 「Feedback を工夫して家庭学習とつなげる」

英作文において、コメント機能を活用することで、教師のフィードバックを家庭学習に生かすことができるようにする。それにより、授業内での個別指導の時間を減らし、言語活動の時間を増やす。

② 「ループリックを提示して自己調整を図る」

音読の際、ループリックを提示することで、生徒が音読練習において、自己調整ができるようにする。また、提出された音読動画に対して教師がフィードバックを返すことで、何度でも音読に再挑戦できるようにする。

【実践の目標】

自分の好きな有名人について、好きな理由を含めた、まとまりのある英文を書くことができる。

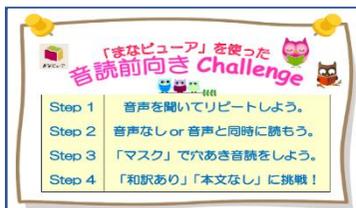
【実際の場面】

1. 教科書本文の音読を通して接続詞を用いた表現に慣れる

まとまりのある文章を読むことに慣れ、語彙の定着を図るために、音読を録画し、Google Classroom で提出させた。音読の練習にはデジタル教科書の機能を活用して、音声速度等を調整することで、個人に合った学習ができるように工夫した。また、ループリックを提示することで、納得のいくまで何度でも提出できるようにした。

2. 好きな有名人の写真をタブレットに表示してペアで紹介する

家庭学習として、自分の好きな有名人の写真をタブレットに準備しておき、ペアに写真を見せながら、だれが好きかを伝え、ペアからの“Why～?”の質問に答えられるようにした。



3. 紹介文を書くために必要な単語を調べる

タブレットを使って、表現したいが英語でどのように表現するか分からない語（職業など）や発音を調べて、ワークシートにメモした。その際、単語レベルで調べるにとどめ、英文翻訳機能を使用させないように留意した。

4. 語順を意識しながら英文を書く

語順表を見ながら英文を書くことにより、英語と日本語の語順の違いを意識した。各自、完成した英文を写真と共に Google スライドにまとめ、Google Classroom に送信した。

5. 教師からのアドバイスを読んで修正する

コメント機能を活用し、教師が生徒一人一人の紹介文に対してアドバイスを行った。生徒は、選択した語句や文に関する教師からのアドバイスを読み、もう一度自分の作成した英文の文法や語順、構成などを考え直した。

6. 紹介文を再考し、修正・加筆したものを再提出する

アドバイスを参考に自分で考え直したものを再提出した。その際、疑問に思った点や相談したい点をコメント欄に入力し、教師とやり取りをした。

7. 完成した英文を見せ合い、相互評価をする

完成したスライドをペアやグループに見せながら発表し、互いの良かった点や改善点を伝え合った。また、次のペアで紹介する際に、その改善点を意識して行った。

【成果と課題】

【成果】

- 写真の印刷などの準備にかかる時間がタブレットを使うことで短縮できた。
- 調べた単語や教科書本文の発音を音声で確認できるので、発音できないまま書く生徒が減った。
- ライティングの指導に関して、タブレットを活用することで、授業の中だけでは十分にできなかった個別の指導が充実した。また、授業中の個別指導の際に、他の生徒が間延びする時間がなくなり、全体指導や他の言語活動に時間を有効に使えた。

【課題】

- 英文翻訳機能を活用しようとしてしまう生徒がいるため、語順の定着に課題があり、継続した指導が必要である。
- 辞書のように横に置いた状態で書き写すことができないため、綴りミスや「(大文字のI)と1(小文字のl)の識別が難しい生徒がいる。また、コピー＆ペーストするだけで、綴りが身に付かないことも考えられる。

海田町立海田中学校

